

手引き8

◆リライトをしよう！

- ◆リライトとは… 文章を読んで、目的に応じて創造的に書きかえる言語活動です。物語の続きを書いたり、パロディーを書いたりするのもリライトの一つです。

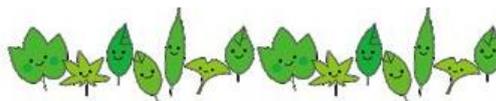
何のためにするの？

- ◆リライトの目的… 私たちの身の回りでよく行われているリライトは、商業目的で行われているものが多いです。例えば、話題の小説の映画化や漫画化、昔話の絵本、新聞各社が発行している子ども用の新聞などがこれに当たります。それぞれ読み手が必要としている情報を提供するためになされているリライトだと言えます。



これに対して、私たちが国語科の学習としてリライトに取り組む場合は、友達や下級生に物語作品を紹介したり、家族に自分の感動を伝えたりするためというように、読み手に伝えたい情報を効果的に伝えるために行うことが多くなります。また、リライトすることを通して、文章の読み方や読む楽しさを学ぶことができるので楽しく言葉の力を付けるためにリライトをすると言えます。

どうやって？



◆リライトの手順

- ① リライトの目的を明らかにする。

(例)・詩を読んで想像したことを伝えるために、詩を随筆にリライトする。

⇔ 詩の読み方や詩を読む楽しさを学ぶために、詩を随筆にリライトする。

(例)・小説を読んで想像したことを伝えるために、小説を脚本にリライトする。

⇔ 小説の読み方や小説を読む楽しさを学ぶために、小説を脚本にリライトする。

(例)・文章を読んで分かったことを伝えるために、文章をレポートにリライトする。

⇔ 報告文やレポートの読み方・書き方を学ぶために、文章をレポートにリライトする。

- ② リライトの条件を確かめる。

リライトの目的に応じて、リライトの条件が異なります。リライトの条件に応じて原作の読み方も異なってきますので、目的や条件に応じて、必要な情報を原作から読み取るようにしましょう。読み取った情報のまとめ方も工夫してみましょう。

- ③ 目的や条件に応じてリライトする。

- ④ リライトした作品を読み合う。

- ⑤ リライトすることを通して身に付けた力や学んだことを振り返る。

気をつけよう！

- ★ リライトした作品を授業の場以外で発表する場合には、原作の著作権に触れることがないか確かめましょう。特に、Webページへの掲載については注意が必要です。